

# 令和元年度 第4回 木曾川水系流域委員会 議事要旨

日 時：令和元年11月20日（水）15：00～17：00

場 所：プライムセントラルタワー名古屋駅前店

13階 第4+5会議室

## 1. 開会

## 2. 挨拶

## 3. 議題

- ・ 木曾川水系河川整備計画変更原案（案）について
- ・ 今後の予定について

### (1) 木曾川水系河川整備計画変更原案（案）について

- ・ 同一の内容について時系列などを含む表現が統一されていない箇所や記載内容が重複している箇所については、事実関係を踏まえ、その記載を再考すること。
- ・ 今年の台風第19号により発生した浸水により排水施設が使用できなかった事例を踏まえ、耐水対策について追記できないか再考すること。
- ・ 整備計画策定時より記載している「東海地震、東南海・南海地震」という表記については「南海トラフ地震」に置き換えるかを含め、今回変更していない部分と赤字の変更部分の考え方踏まえ、表現について再考すること。
- ・ 追記するいくつかの会議体について、それらの役割等の違いがわかるような工夫を検討すること。
- ・ これまでの流域委員会で議論してきた内容を踏まえ、今回の変更の考え方や課題が残っている内容等についてわかるような工夫を検討すること。
- ・ 「氾濫が生じた場合でも、円滑な避難を促進し、」と記載された表現があるが、一般に避難は氾濫が生じる前に行うものであることを踏まえると適切ではないため、表現を再考すること。
- ・ 「さらに、重要水防箇所等の洪水に対しリスクが高い区間について、地方公共団体、水防団、自治会等との共同点検を確実に実施する。」とあるが、点検を実施するタイミングの具体化等により、より効果的な記載にできないか検討すること。
- ・ 河川整備計画変更原案（案）の本文について、全体を通して図がほとんどなく分かりづらいため、説明資料を作成するなどし、分かりやすい工夫を行うべき。
- ・ 長良川遊水地の附図について、そのタイトルを再考すること
- ・ 長良川遊水地の構造や周辺河道を含めた整備の詳細については、今後、詳細な設計を行う中で、引き続き流域委員会において議論すること。

## 4. 閉会

以 上